

INFORMATION

ART OF DOLL コンテスト

ART OF DOLL ではコンテストが行われます。私も審査をさせて頂きました。応募作品は全体的に表現、装飾過剰な印象がありました。やる気に満ちた応募者にとって、引き算をすることは勇気が必要かもしれません。

私の個人賞は技術的に多少難がありました。作品の併まいに味わいを感じた右の写真の人形に決めました。別の審査員もこの作品を選んでいました。過去にはこのコンテストで、ジガイロ・セルゲイさん、ガリナ・コレスニコヴァさんを選ばせて頂きました。表紙で作品を掲載したガリナさんは今回も堂々としたインスタレーションで立派なプロとして活躍されていました。(羽関)

本年の受賞者

チェスノコヴァ・スヴェトラナ (ロシア)
Chesnokova Svetlana,
Hazeki award at Art of Doll



コヤーラ・クラブ入会条件

入会金なし 年会費：2000円（更新時に2年分一括払いの方は3900円となります。）
年4回（1・4・7・10月）のチーム・コヤーラのニュースレターとDM便が届きます。

お申し込み方法

年会費 2000円を以下の方法でご送金ください。

【郵便振替】 通信欄に「コヤーラ入会」とお書きください。

送金先 「口座番号」 00140-7-358370 「口座名」 チーム・コヤーラ

*ご入金が確認できたらチーム・コヤーラよりハゼキで受領証と会員証を兼ねたお知らせをお送りし、次の号から「コヤーラ通信」をお送りします。更新時には、有効期限内の最後の号を発行するときに、更新のお知らせを同封いたします。

DM同封希望の方（発行月から3ヶ月の間に展覧会を予定されている方）

事前に枚数などお問い合わせの上お申し込みください。同封DMは発行月の前月20日にチーム・コヤーラ必着でお送りください。

同封料金 コヤーラ・クラブ会員：2000円 一般（非会員）：3000円

紙上展応募の方

会員の方の人の写真の自作品の写真を受け付けております。

33号〆切 2018年3月1日（必着）

以下を下記まで、郵送かメールでお送りください。

第7回クラフトアート創作人形展

（第5回クラフトアート人形マッチングコンクール本選会場）

東京

2018年1月28日～2月3日

10:00～19:00(初日13:00開場、最終日16:00閉場)

東京交通会館 B1F ゴールドサロン

大阪

2018年2月14日～20日

10:00～20:30(最終日17:00閉場)

大丸心斎橋店北館 12階美術画廊

招待作家

岡馬勲／てらおなみ／Noe／藤本晶子／芙蓉／吉水たか代

辻村寿三郎人形館「全国創作人形公募展」

開催期間：2018年9月29日（土）～2018年11月4日（日）

会場：広島三次辻村寿三郎人形館（三次市歴史民俗資料館）

〒728-0021 広島県三次市三次町1236

主催：辻村寿三郎人形館「全国創作人形公募展」実行委員会

応募受付開始：2018年3月5日（月）

締切：2018年6月30日（土）（必着）

応募要項

①参加費：1作品8,500円（税込）

※1人2作品まで。2作品目6,500円（税込）

注>2作品出される方は合計15,000円（税込）

②応募資格：出品者本人のオリジナル作品

※プロ・アマチュアは問わない

③作品サイズ：幅50cm×奥行50cm×高さ70cm内

※組作品の場合は1作品3体まで。

④注意事項

未発表作品であること／現地での組立や着脱等を要するものは不可／

2枚以上の連作不可／壁掛けの展示となる作品は不可／参加費の振込手数料は応募者負担

賞

辻村寿三郎賞20万円（大賞）／寿三郎みよし賞5万円（準大賞）

アトリエジュサブロー賞5万円（準大賞）／奨励賞2万円×3人

他特別賞

問合 辻村寿三郎人形館「全国創作人形公募展」実行委員会

TEL: 0824-65-2001（水曜休定） FAX: 0824-65-2002

Mail : jusaburokouboten@gmail.com

http://www.mhst.jp/jusaburo/jusaburo_2018_kouboten.htm

作品写真2~3点（全体・アップ・裸形） サイズ：ハガキ。

「会員番号」「作家名」「タイトル」「素材」「サイズ」他、簡単なコメントなど。

*何点でも応募できますが、誌面の都合上掲載はお一人1点になります。

*応募作品はウェブ上で公開されることもあります。（講評は紙面のみ掲載）

*応募書類は返却いたしません。

個人情報について

頂いた個人情報はチーム・コヤーラの業務委託を受ける HAZEKI office が厳重に管理します。

名簿はチーム・コヤーラのニュースレター発送に使用させていただく他、チーム・コヤーラの趣旨に沿ってDMクラブ会員にとって有意義と判断した情報を伝達する以外には一切使用せず、チーム・コヤーラ以外の第三者が閲覧、使用することは一切ありません。

各お申し込み・連絡先

チーム・コヤーラ

東京都東村山市久米川町3-27-57 HAZEKI office 内

TEL 042-395-7547 (担当 ハゼキ)

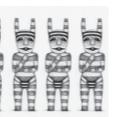
FAX 042-395-7975

URL <http://koyaala.jp/>

Email team_koyaala@yahoo.co.jp

KOYAALA 通信 編集責任者 羽関チエコ (HAZEKI office)

©KOYAALA TSUSHIN 2010, printed in Japan 本紙記載の記事・写真の無断使用・転載を禁じます。



KOYAALA 通信 No.32

Jan. 2018



「KOYAALA 通信」は、チーム・コヤーラがコヤーラ・クラブ会員に発行するニュース・レターです。年4回発行 発行日（予定）1月1日、4月1日、7月1日、10月1日

謹賀新年 本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。チーム・コヤーラ一同

第8回 ART OF DOLL リポート

2017年12月15日（金）～17（日） Gostiny Dvor (モスクワ)

VIII МОСКОВСКАЯ МЕЖДУНАРОДНАЯ ВЫСТАВКА
ИСКУССТВО
Куклы

今年で8回目を迎えるロシア最大の国際人形展 ART OF DOLL。主催者発表で26カ国から1000人以上の作家が参加するこの展覧会に、本年は羽関オフィスブースで山口景子さん、水澄美恵子さん、新家智子さん3人の作品を紹介させて頂きました。日本からは京都の市松人形の工房朋も出展されました。

モスクワは毎年訪れる度に町や設備が新しく綺麗になり、特にこの季節はクリスマスのライトアップが益々豪華で目を見張ります。

ロシアの展示に初めて参加してから10年近く経ちます。当初は運営やサービスに慣れない主催者の準備の悪さが目立ちましたが、町の景色の変化の早さと比例して運営体制も整ってきました。ロシアと近隣国の作家にとって目標の展覧会として位置付いたようです。一方で出品者の入れ替わりもあり、減少気味だったヨーロッパの作家の顔がほとんど見えなくなったのは、寂しく思いました。

しかし出品者の気合いは衰えず、壁面を使う企画展示部門は、空間構成に時間とアイデアをかけて取り組んでいるので見応えがあります。コンセプトを尋ねると深い思索に基づく背景があり、そこにまた感嘆します。

会場で私はモスクワ公営のTV文化チャンネルの取材を受けました。日本とロシアの人形の相違点について尋ねられたので、アニメの影響が現代まで残っている点が両国の共通点だと話しました。歴史や文化が違って、肌感覚や深い精神性でつながりを感じるのであります。しかしロシアは日本よりヨーロッパにずっと近く、また困難な歴史を経た影響もあるのか、才能のある作家が人形をめぐって豊かな個性を競いあう状況が続いている。人気作家のコピーの作り手も見られるようになりましたが、それでもまだユニークな新人が出てきそうです。今のロシアの人形界を見て、初訪問の水澄さん、数年前に一度訪れたことのある山口さん、毎年参加されている新家さんに、次頁でそれぞれの感想を伺いました。



ART OF DOLL に参加して

※敬称略

山口景子

広大な会場に、膨大な人形達、そこに集まる熱心な観客、すべてにおいてスケールが大きくロシアの人々の優雅な文化の高さを肌で感じることが出来、出品しながら、自分も観客の一人として、とても幸せな時間を過ごした。

搬入の朝、会場の中央の一番目立つ場所すでに美しく展示ケースに収まったナムダコヴ・ファミリーの人形にまずは驚き感動した。凝った布の微妙な重なり具合は色彩の魔術師のようである。デフォルメされた人形の姿は、ファショナブルで色々な民族の混じりあったものを感じた。超リアルな物から小さなぬいぐるみまで、其々の心に留まるものに必ず出会えるイベントで、作家達は素材探しにも忙しく歩き回った。

とにかく、長年にわたるロシアと日本の懸け橋となって命がけで人形にかける羽関チエコさんの功績を改め感じ取り、頭が下がる思いが深まつた。

水澄美恵子

初めてのロシア、メインは人形展なのですが、それ以前にモスクワの町の片道六車線もある道路、右も左も玉ネギドームの聖堂や摩天楼のような重厚な高層建築に度肝を抜かれました。

クレムリン博物館に至っては、ダイヤを中心としたロマノフ王朝の財宝にロシア王家の途方もない富の蓄積を見せつけられ失神寸前。その中で「ヴォルガの舟歌」の一枚の絵に出会い、子供の頃なにげなく歌っていたその歌が、この川を遡る船の網を引く奴隸人足達の労働歌だったことを初めて知り、富の裏で搾取された農民たちの悲しみや怒りが反乱につながっていったのだと納得しました。

人形展では実力派のミカエル・サイコフやアリサ・フィリ波ヴァの、髪から靴に至るまでの精巧さと表現力は賞賛の一言につきることに加え、ユニークな人形に関しては日本に比べ

てロシアの方がはるかに多いように思いました。ベロシュクルスカヤの紅茶漉しをヘッドに使った人形の口の開け閉めが可愛く楽しくて印象に残りました。(写真)

今回異文化に触れたことで参考になつたことも多く、今までの人形創りを見直す良い体験となりました。

新家智子

今回で、4度目になる渡露、華やかな会場に足を踏み入れると、初回の興奮が蘇る。

訪れる度思う事は、ロシア作家のブースは、人形1点1点をみせると言うよりは、世界観が強い事。ミカエル(サイコフ)さんや、アリサ(フィリ波ヴァ)さんのようなスーパーリアルな技術力にも、毎回圧倒される。特にアリサのドールは、くどいほどに様々な素材を使いながら、全てが生かされ、絶妙な魅力を放つ。

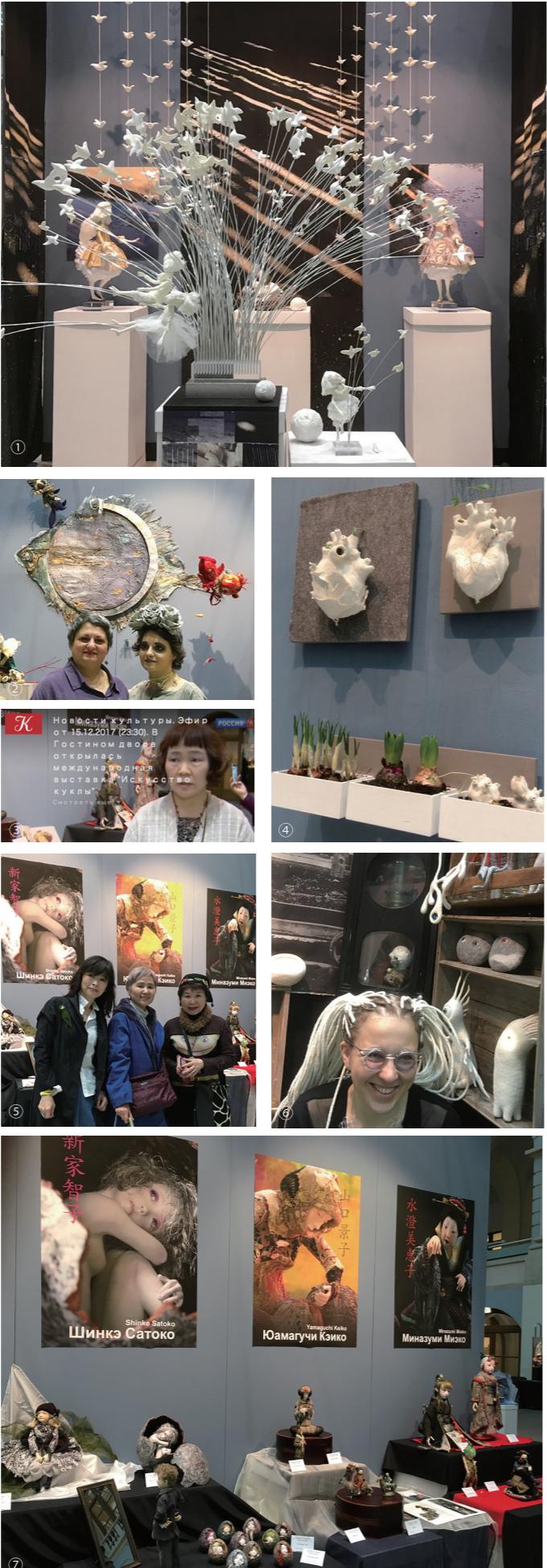
何だろう!? この表現力…されど

他のロシア作家の発想に富んだデフォルメの仕方や面白さ、センスの良さにもまた別のパワーを感じ日本の創作人形との違いに、いつもドキッときさせられる。

そんな時、通訳の子が私の作品(たまごっ子)を見て、「ロシア人はこういう事を考えない」と言ってくれた。それは、素直に嬉しかった。

現地では、献身的にサポートしてくれるユーリ・ヴェラ夫妻や通訳さん、そして優しい眼差しを注いで下さる来場者のお蔭で、充実した時間を過ごせ、参加できた事に感謝致します。

①最近ロシアで注目されているイヴァシェンコ・インガのインスタレーション。飾り物も石塑粘土で制作 ②ザブロツキイ母娘は、月と浮遊をテーマにインスタレーション制作。本人も毎日異なるメイクと衣装で登場 ③公営モスクワ文化TVチャンネルで解説する羽間 ④愛らしいミニビスクドールで人気のあるドールチカは、姉のカタフニスと合同で生物学的なテーマで展示を構成した。ドールチカはビスクで年令層別に4つの形の違う心臓の花器を作製。ついで経験があった心臓を愛が守り、草木は心を支える、水がたまると下の栓から水が滴り下の植物を潤し、愛が少しずつ循環するコンセプトを仕掛けている。 ⑤左から 新家・山口・水澄(敬称略) ⑥フェルト作家のシンコウスカヤは自作のフェルトで本人が作品みたい ⑦羽関オフィス展示ブース



チーム・コヤーラ創作人形公募展の翌年に受賞者を含めた出品者の「その後」を追う恒例の人形展は、今回が3回目となりました。搬入日は初めての試みとして、飾り付け作業が終わった会場でそのままチーム・コヤーラミーティングを行いました。ゲスト作家、出品者に希望者を交えて総勢60名近くが参加したスクランブルの公開講評会です。

誰に何を尋ねても良し、人の会話を横で聞くのも良し。ゲスト作家同士も質問をしあったり、アンケートではほとんどの出席者が「有意義」と回答した濃厚な3時間でした。その後、懇親会ではさらにゲスト作家を囲んで、人形談話が途切れることはありませんでした。

感想・印象に残った言葉

私がコンテストの応募者ならともども嬉しいだろうなと思いました。自分が挑戦者じゃないのが悔しかったです。ああいう厳しくも楽しい、エキサイティングな場に私も一般公募者として臨んでみたかったです。シャイな性格の人でも思いきって講評してほしいと言えたりする雰囲気も良かったですね。(矢部藤子:ゲスト作家)

テーブルに座ってのミーティングと思っていましたら、自由に動きながら、他の人が聞いている側から参入しても良い、型破りなミーティングで、多くの作家さんからお話を聞けて、最初、緊張していたのに、打ちとけることができました。作家さんたちの創作にかける情熱はものすごく強く、圧倒され感動しました。(ほびと工房)

あらためていただくご意見はどんな言葉も宝だと思いました。先生方に身近でご意見を伺える貴重な機会ですし、一人で参加してから年を重ねる度に作家同士の交流も深まり、毎年上京するのが楽しみです。作品の素材、使い方、仕入先などなど、事細かにご説明いただいて、自分の作品に使ってみようかななどと思いを馳せてみたり、皆さんの作品に対する真摯な姿勢に頭が下がりっぱなしでした。(原田万紀)

「やりたいと思ったことはやってみた方が良い」。とても迷っていた

ので、勇気がでました。(尾花智子)

●(作品に仕込んだ)水晶灯を使うことに対する意見が様々で興味深かった。(ホシノリコ)

●入選・入賞の方々とはお互いの制作方法や制作意図等。あと、ほんの少しですが作家さんのバックグラウンド的なお話(どういった経緯で人形を作るようになったとかと、今までの活動等)も聞くことができ、興味深かったです。(ちしたかずよ)

●ゲストのコーナーが面白かった。道場破りみたい。(月光社:ゲスト作家)

●熱心な方が多く、こちらも刺激をもらいました。このような展覧会は他ではありませんので続けてほしいです。(高橋操:ゲスト作家)

●技術的にはとても完成度のある方が、自分の本当に作りたい人形の方に向が分からないとおしゃっていたのが気になりました。(長谷川裕子:ゲスト作家)

●懇親会で井桁先生が技術面をすごく細かくみなさんに説明されていて、まるで講義を受けているようで感動しました。作家同士直接話ができる機会は貴重だと思いました。本音で思ったことを言って下さるのでうれしい。(クサボン:チーム・コヤーラ)

それからの人形達展 2017年11月28日~12月3日

チーム・コヤーラミーティング 11月27日

NHKふれあいホールギャラリー(東京・渋谷)

【2016年受賞者】ホシノリコ/古城真理/En/deeper-bj/ほびと工房/小野由美子/はちす/久恵/ちやお/原田万紀

【2016年出品者(選抜)】尾花智子/伊川まり子/亀島利子/成瀬麻里子/常見一奈/新家智子/Chika/たつきー/細貝まい/福泉久美子/風らい坊/kinoko-doll/ちしたかずよ/広野多衣子/加藤洋子/野原tamago(順不同)

【ゲスト作家】月光社/山吉由利子/長谷川裕子/上野延子/矢部藤子/井桁裕子/影山多栄子/高橋操/水澄美恵子/石田百合/よねやまりゅう/Noe(高橋野枝)/くるはらきみ【チーム・コヤーラ】青の羊/クサボン/中村周子/西村FELIZ/本多厚二

